

スポーツ 川越

発行 川越市体育協会



ウォークソン大会より

「〇〇都市宣言」

副会長 竹内康雄

昔「遊んでいる暇があったら、庭でも掃きなさい」とよく父親にいわれた。「いつまでも石けりなどしてしないで、洗濯物を取り込んでよ。」と女の子は母親から家事を命ぜられた。

今、掃除する庭もない、洗濯物を外から取り込む必要のないアパートやマンション住いの人が多い。

昔はスポーツなどしている暇があったら……と考えたが、今は時間を捻り出してもスポーツをしたいと考えている。誰でも手軽にできるジョギングもスポーツなら、用具に莫大な金のかかるヨットもスポーツであるように、その種類の多面化と、スポーツをする目的も遊びから、健康保持、体力増強、肉体の限界への挑戦等々と多岐に亘っているのが現代の特徴であろう。

スポーツを遊びと考えるか、健康への投資と考えるか単純に割りきれれるものではないが、地域社会においては健康な住みよい街造りを願わない人はいない。

去る一月四日の日本経済新聞に、全国一〇〇都市の健康度を診断した特集記事があった。それによると当市は自然環境に恵まれ、健康水準も良好であるが、健康条件、体育条件、体育活力の面が低調であった。簡単にいえば、保健や体育への投資や施設の不足と、体育の普及や実施の水準が低いと指摘されていたことになる。

体育協会としては謙虚に反省し、指導者の充実をはじめ、施策の再検討等が今後の重要課題になろう。

健康、体育の条件と云う点では、二万人の請願のあった運動公園の早期実現は勿論のこと、さらに健康への投資を積極化し、表題の〇〇の中へ健康の二文字の一日も早く入る日を望みたい。

60周年記念 ウォークソン大会

本市では、昭和五十七年十一月三日(文化の日)、市制施行六十周年を記念して、全国でも初めての第一回川越ウォークソン大会を、主催川越市・川越市教育委員会・日本ウォークソン連盟・毎日新聞社、主管川越市体育協会・川越市体育指導委員連絡協議会・川越市陸上競技連盟で開催いたしました。

この大会は、人間の生活の中で最も基本的な動作である歩くことを正しく認識してもらうことにより、健康で豊かな社会生活を営んでいたいただきたいと考え計画いたしました。

一、大会の経過
(一) 開会式
午前九時、川越市役所隣の初雁中学校校庭で、エントリー一番である中村広子選手の力強い選手宣誓により開会式がなやかな雰囲気のうちに行われました。
(参加者の声：ムードが良かった。受付場所で大興奮してしまっ)

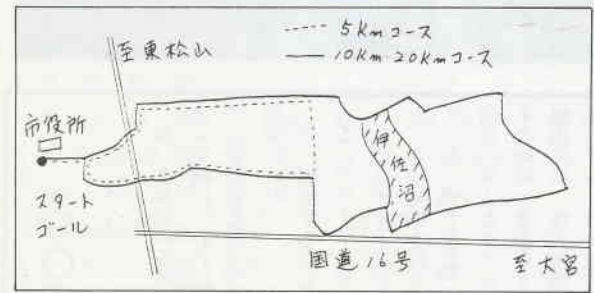


当日は朝から青空が広がり絶好のスポーツ日和となり、最高七十五才のお年寄りから六才の幼稚園児まで、総出場者数一九三二名の参加者により盛大に行うことができました。
参加者の内訳は、市内：一八二〇名、市外が一二二名(県外が三十六名)です。

(二) 一般二十キロ男女の部スタート
午前十時、七十四名の一般男女が市役所前をスタート、国道二五四号を横断し、荒川右岸近くの伊佐沼から古谷穀倉地帯を通っての一周十キロコースを一周、二十キロに挑む選手達だけあつて見るからにたくましい感じがします。
スタートして一時間四十分後には、男子の一位の姿が見えてきました。更に二時間三分後には女子の一位の姿が見えてきました。以下六位までの結果は左記の通りです。

	〈女子〉			〈男子〉		
1位	石原澄江	2:03'20	大森健一	1:42'01		
2位	永田昌子	2:36'39	白井悦夫	1:42'06		
3位	中村広子	2:43'09	来田悦一	1:48'10		
4位	下川ト子	2:50'34	山田利彦	1:48'23		
5位	小林百合子	2:53'24	久保田淳	1:52'28		
6位	溝口広美	2:55'05	根本利勝	1:53'52		

スタートして一時間四十分後には、男子の一位の姿が見えてきました。更に二時間三分後には女子の一位の姿が見えてきました。以下六位までの結果は左記の通りです。



(参加者の声：途中でジャリ道所が辛かった。なにか駆け足)

1位	佐藤藤子	41
2位	伊藤恵子	42
3位	佐藤前子	43
4位	高橋和美	47
5位	梅原美貴子	06
6位	斉藤陽子	35

一般二十キロと同じように国道二五四号を横断し、松郷、伊佐沼の畔道を通り市役所へ。
スタート前の子供たちの顔は「キリッ」とひきしまり、すばらしい顔です。結果は左記の通りです。

(三) 小学生五キロ女子の部スタート
十時十分、三四五名の小学生女子が市役所前をスタート、一

(四) 中学生五キロ男子の部スタート
十時十分、五九八名の小学生男子が市役所前をスタート、コースについては女子と同じで行なわれました。沿道の声援に送られ、見事に全員完歩しました。

	〈女子〉			〈男子〉		
1位	石原真妙	34'19	中畑文孝	32'41		
2位	石田淳子	34'20	田田雅勝	32'41		
3位	安達多矢子	34'24	屋直道	32'41		
4位	岩田奈々	37'36	塚幸一	32'41		
5位	須賀久美子	37'38	須賀純	32'56		
6位	山戸佐和子	37'58	山戸政治	32'57		

中学生ともなると一般の部に負けず力強いレースとなりました。結果は左記の通りです。

小学生五キロ女子の部スタート
十時十分、三二八名の中学生男女が市役所前をスタート、コースについては小学生五キロと同じコースで行なわれました。中学生ともなると一般の部に負けず力強いレースとなりました。結果は左記の通りです。

結果は左記の通りです。

市制施行 第1回川越

■小学5km男子の部

1位	島村利勝	04	修07
2位	原野修	29	07
3位	鈴木木	29	08
4位	山本拓	29	26
5位	清本水	29	竜43
6位	長谷川敦	29	敦40

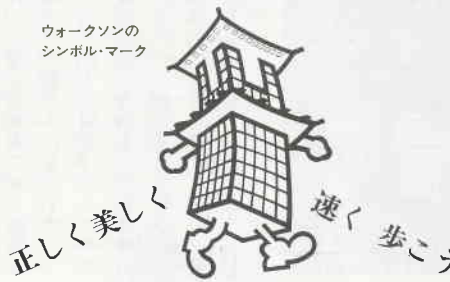
(六)一般十キロ男子の部スタート
十時四十分、二三名の一般男子が市役所前をスタート、コースについては、二十キロコースを一周です。それぞれ鍛えられた脚力を十分に生かしてすばらしいレースとなりました。結

果は左記の通りです。

■一般10km男子の部

1位	見旭幸	照14	欣48
2位	田欣	56	56
3位	松田	56	54
4位	洪谷	58	54
5位	横川	58	57
6位	青木	59	51

ウォークソンのシンボルマーク



(七)一般十キロ女子の部・親子五キロの部スタート
十時四十五分、二三四名の一般女子と二三名の親子が市役所前をスタート、スタートして一時間一分後には一般女子の一位の選手の姿が、四十五分後には親子の部の一位の選手の姿が見えてきました。以下六位までの結果は下記のとおりです。

(親子の部の記録については略)

■一般10km女子の部

1位	恵子	友里	達1:01	59
2位	江子	方菊	1:11	45
3位	政子	田慶	1:11	47
4位	和子	八木	1:13	23
5位	恵子	国府	1:13	46
6位	子	佐藤	1:14	10

(参加者の声：一般十キロ女子の部に参加したAさんは、この大会を通して「正しい歩き方を理解することができたので、その後の毎日の生活において、意識的に胸を張り、背筋を伸ばしサッサと歩くような心がけている」ということです。)

二、大会をふりかえって

「……慣れていないため足が疲れ、途中何度となくやめようかと思ったが、役員の方の励ましの言葉、地元の人達の小旗を振るっての応援が、とてもはげみになり……」

の参加者の声からもおわかりのように、この大会が「参加者全員無事故、制限時間内の完歩」という立派な成果を挙げて終了できたのも、関係各位の献身的な協力とご指導の賜です。

なお、役員の方々はこの大会をふりかえって、次のような意見を述べています。

(一) 大会役員の声



・権威ある大会に育てるためにも、規則をきちんと守らせ

ア、期日について

・第一回の記念すべき日なので、十一月三日をウォークソンの日として定めた方がよいのではないかと。

イ、コースについて

・今後は道幅の広いコースをきめ、公認コースをつくってはどうか。

ウ、種目について

・競技を中心にする部とレク的に扱う部を設けてはどうだろうか。

エ、競技の規則について

る方向で進めてはどうか。

その他、様々な角度から反省が出されていますが、紙面の関係上、略します。

最後に、本大会の実行委員長である関口正銕体育協会会長は、次のように述べています。

「はじめての大会にしては大成功である。このように、川越で市外・県外の人を対象に行事を行い川越をアピールしたのは、はじめてである。

この大会を通して、様々な団体の人達が、一つの目的に向かって一致団結して仕事をなし遂げたことに大変な意義を感じた。

運営方法等については、逐次検討し、よりよい大会にしていくたい。

(二) 今後の方向性

大会を終えてみると、いろいろな問題点が生じてきました。年度早々には、この問題点をひとつひとつ吟味し、大会の方向性を早めに確立していくことが大切です。特に問題となるのはこの大会をレク的に扱うか、競技的に扱うかです。場合によっては、目的や参加する人々のレベルによっていくつかの段階にわけて大会を運営しなければならぬことも生じてくると思えます。

頑張れ三十代!

壮年体力テスト結果より

昭和五十七年度壮年体力テストが十月十日の市民体育祭総合開会式にひき続き実施され、この度、結果が集計された。

参加者(七十四名)数からみてテストの結果が同時に川越市壮年層の体力現状と捉えることはやや問題もあるが、市民の健康体力つくりへのひとつの指標とはなりえよう。

集計結果を全国標準値と比較してみると、三十才代男子の急歩を除く全項目で全国標準値を上回るという好結果となった。これまでも本市平均値が全国値を上回る種

(男子)

急歩: 1500m

		30才代	40才代	50才代
		市	43.9〇	42.8〇
反復横とび(回)	全国	42.5	40.0	36.4
垂直とび(cm)	市	53.8〇	50.3〇	44.3〇
	全国	50.1	44.1	37.7
握力(kg)	市	47.5〇	49.1〇	45.0〇
	全国	46.0	44.1	41.6
ジクザグドリプル(秒)	市	16.2〇	16.9〇	20.5〇
	全国	18.3	21.4	24.6
急歩(分)	市	11.35×	10.9〇	11.4〇
	全国	11.2	11.7	12.1

(女子)

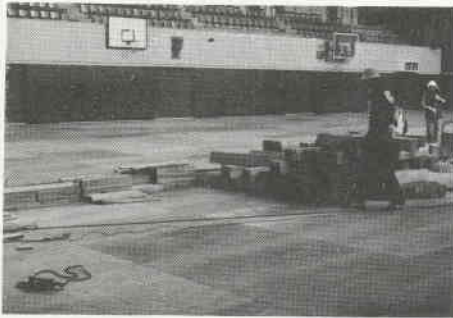
急歩: 1000m

		30才代	40才代	50才代
		市	40.2〇	39.0〇
反復横とび(回)	全国	37.5	35.4	31.5
垂直とび(cm)	市	37.8〇	36.1〇	35.5〇
	全国	32.2	27.5	22.6
握力(kg)	市	34.4〇	33.8〇	32.7〇
	全国	29.5	28.3	25.6
ジクザグドリプル(秒)	市	17.2〇	18.6〇	19.8〇
	全国	19.5	21.5	23.7
急歩(分)	市	8.0〇	8.4〇	8.3〇
	全国	8.7	9.0	9.4

〇: 全国標準値を上回る ×: 全国標準値を下回る

目が多かったが、本年はそれを裏づけることとなった。

こうした中で問題となるのは三十才代男子の急歩種目である。体力の維持、増進をはかるには、心肺機能を高めることが、きわめて重要であることが力説されている現在、心身とも充実させ、活発な仕事ぶりが要求される三十代に、持久力の低下が目立つことにやや不安が残る。今後もこの壮年体力テストへの市民の参加を呼びかけ健康体力つくりを進めていく必要がある。



スポーツ好きな川越市民の夢がようやく実現されようとしている。

一 埼玉県第三水上公園については川越市の強い誘致運動により、市内小ヶ谷、池辺地区の関越高速道路と初雁橋中間に広さ四十九ヘクタールの広大な土地に建設されることに決り、県も新年度予算に第三水上公園建設調査費五百万円を計上し、市もこれにこたえて着々進行中で、土地の買収においても所有者の八〇%の承諾を得残りの土地についても代替地等の事項もふまえて交渉中とのことです。また市の負担金三〇億円については開発公社が代替するそうです。

市では昭和六十一年度完成を目標して鋭意努力中で、上尾のさいたま水上公園、越谷、岩槻のしら

体育施設の現状と展望

こぼと水上公園につづき、大形変形、流水、造波、スライダー等各プールの他、管理棟・休憩所・大駐車場をもつ一大水上公園の完成が待ち遠しい限りです。

二 古谷下老袋地区の市所有地七・五三ヘクタールに約八ヘクタール加え、合計十五ヘクタール

スポーツ愛好者待望の総合運動公園の建設促進を強く望みます。

三 市民体育館の床の張り替え工事と屋根の修理は目下工事中で四月より正常に使用出来ることですが、できうるならば社会人が優先的に使用できる体育館が欲しいものです。

四 初雁球場についてはこのたび夜間使用できるナイター設備を一億数千万円を投じ工事中で、三月中に工事を完了、同時に球場内外の整備や芝の張り替えを行い、芝がつき次第使用できるそうです。

五 安比奈地区に四百メートルトラックの陸上競技場(フィールド内はサッカー等のできる多目的グラウンド)と、軟式庭球コート七面を有する運動公園の設置を企画、昭和五十八年度中に着行したいとのことで、これもまた早急に実現を期待します。

以上かねてより計画のもの、また新たに計画されたもの等ありますが、これだけのものができれば市民の体力づくりに大いに貢献され、また他市との均衡も得られることと思います。

余り(約七万坪)の土地に多角的なスポーツ施設をもつ総合運動公園を建設すべく、かねてより計画のところ、土地所有者との交渉が難行し、他の隣接地を獲得すべく去る二月十七日の企画委員会協議したとのことですが、一日も早く地主との円満な交渉を進め、

いずれにしましても一朝一夕にできるものでもありませんが、スポーツを愛する者にとって一日も早く実現されることを望みます。

前夜祭

市制施行六十周年を記念して、昨年六月十二日、十三日の両日、第一回婦人スポーツの集いが開かれました。

十二日は前夜祭と銘打って午後二時より市民体育館で約五百人の参加者を集め、体操の池田敬子先生を講師に、二時間にわたり婦人のスポーツについて講演をいただきました。

池田先生は皆さんご存知の通りメルボルン・ローマ・東京と各オリンピック日本代表として活躍され、現在日本体育大学で教鞭を執る傍ら、横浜市の教育委員やNHKの経営委員をなされています。また、家庭においては二児の母



市制施行60周年記念 婦人スポーツの集い

であり、その広い知識や、いろいろな体験をもとに、スポーツに限らず広く家庭教育にも触れて下さいました。

ここにいくつか先生のお話をご紹介します。

まず女性のタバコの害についてこれは、タバコが胎児に及ぼす悪影響は計りしれないものがある。出産前の女性は絶対にタバコを吸わないようにと力説されました。次にママさんバレーやゲートボールの行きすぎについて、最近のママさんバレーやゲートボールは

あまりにも勝敗にこだわりすぎている人が、主婦がスポーツにシャカリキになりすぎるとどうしても家庭がおろそかになり、子供の教



育に手がまわらなくなる。小さなもめ事も積み積もればそれが家庭不和、家庭崩壊につながってゆく。これでは何のためのスポーツかわからない。もっとスポーツの

原点にかえって、たのしくやるべきだと言われました。また予備体力について、たとえば人間が普通に生活を営むのに十



の体力が必要だとすると、十しか体力のない人はいつも一杯の体力を使って生活している。ところがスポーツをして十五の体力を持

っている人は、五の体力がいつも余っている。普段の生活ではその差は出ないが、いざという時には生と死ほどの差にもなる。だから普段からスポーツをして体を鍛えなくてはならないと話されました。

その他、簡単な実技も交えて色々とお話いただきましたが、最後に子育て、子供の教育には両親の仲の良さが絶対に必要だと言われて、すばらしい講演の幕を閉じました。

会場が体育館ということで、音響効果が悪く、2回程中断しまし

たが、その都度池田先生がユーモアタップリに機転を気かして事なきを得ましたが、放送設備については今後十分に考える必要があると思われま

講演後引き続き同会場で、レクリエーション協会の指導により、参加者全員でフォークダンスを楽しみました。

種目別

翌十三日には別表の通り卓球、軟式テニス、バレーボール、バスケットボール、バドミントン及び

種目	内容	会場	参加人数
卓球	講習会	市民体育館	約110名
軟式テニス	講習会	初雁市営庭球場	約50名
バレーボール	大会	市内各小・中学校	103チーム
バスケットボール	講習会	野田中学校	約60名
バドミントン	講習会	市民体育館	約20名
ソフトボール	大会	入間大橋運動公園	28チーム

ソフトボールの六種目にわたり、種目別の講習会や大会が行なわれました。



総合開会式

十月十日(体育の日)、市民体育館において、第三十五回市民体育祭総合開会式が開催されました。市制施行六十周年、体育協会設立三十五年を迎えたこの開会式には協会加盟二十六団体とスポーツ少年団のほか多くの人々が出席されました。

また、この席上で昭和五十七年度、体育功労者と優秀選手の表彰式が行なわれました。

栄えある功労賞を受賞されたのは次の方々です。

- 来須 実 (四十五才)
- 野球連盟
- 宮崎 豊 (四十六才)
- バレーボール連盟



- 島田 逸司 (三十七才)
- バスケットボール連盟
- 小林 和弘 (四十四才)
- 柔道連盟

- 村田 喜一 (四十二才)
- 柔道連盟
- 水野 仁 (四十七才)
- 剣道連盟

- 高梨 耕治 (三十六才)
- 弓道連盟

- 江守 秀男 (四十六才)
- 水泳協会

- 関口 敏夫 (四十六才)
- スキー連盟

- 森 賢子 (四十八才)
- 体操連盟

- 宮根 茂 (三十八才)
- 小学校体育連盟

- 佐藤 邦敏 (四十才)
- 中学校体育連盟

- 関 みち子 (六十才)
- レクリエーション協会

賀詞交換会

一月八日(土)、川越市民会館において、川越市体育関係者賀詞交換会が開催されました。

今回の交換会は軟式庭球連盟とバスケットボール連盟が担当し、200名を超える参加者をえて盛大に行なわれ、さらに充実した組織にすべく新たな決意がなされました。



60周年記念表彰

昭和五十七年十二月一日、市民会館において市制施行六十周年を祝う記念式典が催されました。

同式典で、教育文化・体育に貢献された方々へ感謝状が送られました。

体育関係の表彰者は次の通りです。

- 団体として
- 川越市体育協会
- 川越市体育指導委員連絡協議会
- 磯部 績 (元会長)
- 関口 正謙 (会長)
- 戸口 克怡 (副会長)
- 竹内 康雄 (副会長)
- 印藤 勇夫 (副会長)
- 岡野 安夫 (理事長)

スポ少海外派遣事業に参加して

副本部長 山本 常雄

海外研修生の一員として、一月十三日から二十七日迄、ドイツ、スイス、フランスの各地へ、スポーツ施設や組織・運営・学校体育指導者の交流など、大きな期待に胸をおどらせて参加してきました。

坂下団長以下総数二十五名(埼玉県は三名)、日本各地の指導者が成田発のKLM、六三二便の人となった。北廻り路線でアンカレツチへ六時間半、マイナス十七度の寒さにふるえてまた機上へ、それからアムステルダム迄八時間半

こちらは三度で日本風、また機上の人となり一時間で目的地フランクフルトへ。迎えのバスでヘッセ州スポーツシュレへ。さすが

先進国だ。ドイツでの体育館はすべて暖房付き、シャワー室からトイレ迄全部ばかばかである。

建築物の中では皆シャツ一枚、宿泊所もしっかりしており、日本との差をつくづく感じる。ドイツとの青少年交流が今年で十回目とか、そのため大歓迎を受ける。ドイツでは一九八六年迄の同時交流事業の延長をいち早く決め、子供達が派遣を楽しみにしているとのこと、日本での対応の遅れを心配していた。ドイツのスポーツ協会は大きく二つの柱から成り、一つは地域のスポーツ団体であり、もう一つは種目別競技団体である。

施設運営から財務の確保迄すべて自主運営で、行政は補助金の手あて位だから、指導者も管理者も体協が雇用する。地域の大学教授や警察署長さんが指導者だったりする訳だ。主に体操クラブ、スキー、スケート、サッカーなどで、多種目クラブが多い。競技者は町の中でも七割位が関係し、勿論この中からオリンピック選手も出る訳だ。いつまでも明けないカラッとした空の下で、ヨーロッパの人達は自分達の身体を鍛えるのに今でも余念がない。

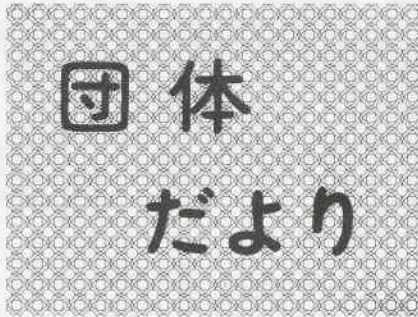


陸上競技連盟

我が陸上競技連盟は、体協加盟以来三十五年を迎えています。最近マラソン、駅伝、ロードレース大会と、ますます、市民の間で走る楽しさが増して来ました。競技に勝つということだけでなく、陸上競技を通して、長い人生を生きぬく基礎的な能力、態度を身につけさせるよう指導をしています。「老化は足からくる」と云われる位、歩くとか走るとか云う動作は、人間の最も基本的な運動です。今はマラソンチームで朝な夕な走っている人に出合う姿は美しいものです。陸連は、これらの陸上愛好者を大切に、中学生、高校生の競技者の強化とともに、一般市民の競技者の拡大に力を注いでいきます。

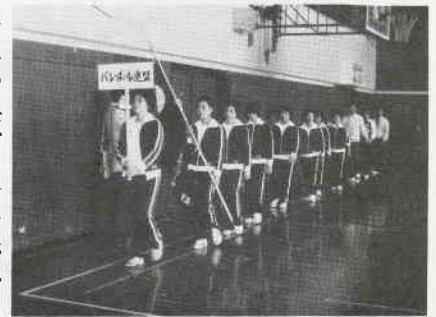


シーズンを三期に分け、前期は、学生を中心に強化指導にあたり、中期は、女性競技者の強化に、後期は、市民体育祭陸上の部、市民ロードレース大会、市民駅伝競走大会を主管することによって、一般の陸上愛好者の拡大と指導に力を注いでいます。川越市の陸上競技発展のためにも早期に陸上競技場の実現を望んでいます。



バレーボール連盟

バレーボール連盟は、昭和23年に誕生し、体協傘下では最も古い連盟の一つである。当時は、連盟の母体である川越クラブをはじめ市内の中学校・高校のチームが、各種大会に出場し、優秀な成績を収めている。その後、埼玉国体の開催を契機にママさんバレーの普



及に努めたが、これは市民スポーツの隆盛に先導的役割を果たしたの言うまでもない。

現在の登録チーム数は、実業団(23)、婦人(15)、ジュニア(9)、一般(6)で、各部会とも順調に年間スケジュールを消化している。また、審判委員会を中心に、指導者や審判員の養成に実績をあげている。

当面の課題としては、ママさんバレーの自主的運営のために諸条件を整備することである。これは永年の懸案であり、県下でもユニークな組織づくりを目的に力を注ぎたい。さらに、ママさんバレーも含めて、「活動の場」の確保であらう。地域スポーツの振興の立場から、学校開放は進んでいるが、30万都市にふさわしい体育施設の新・増設を切に望む次第である。

成績一覧表

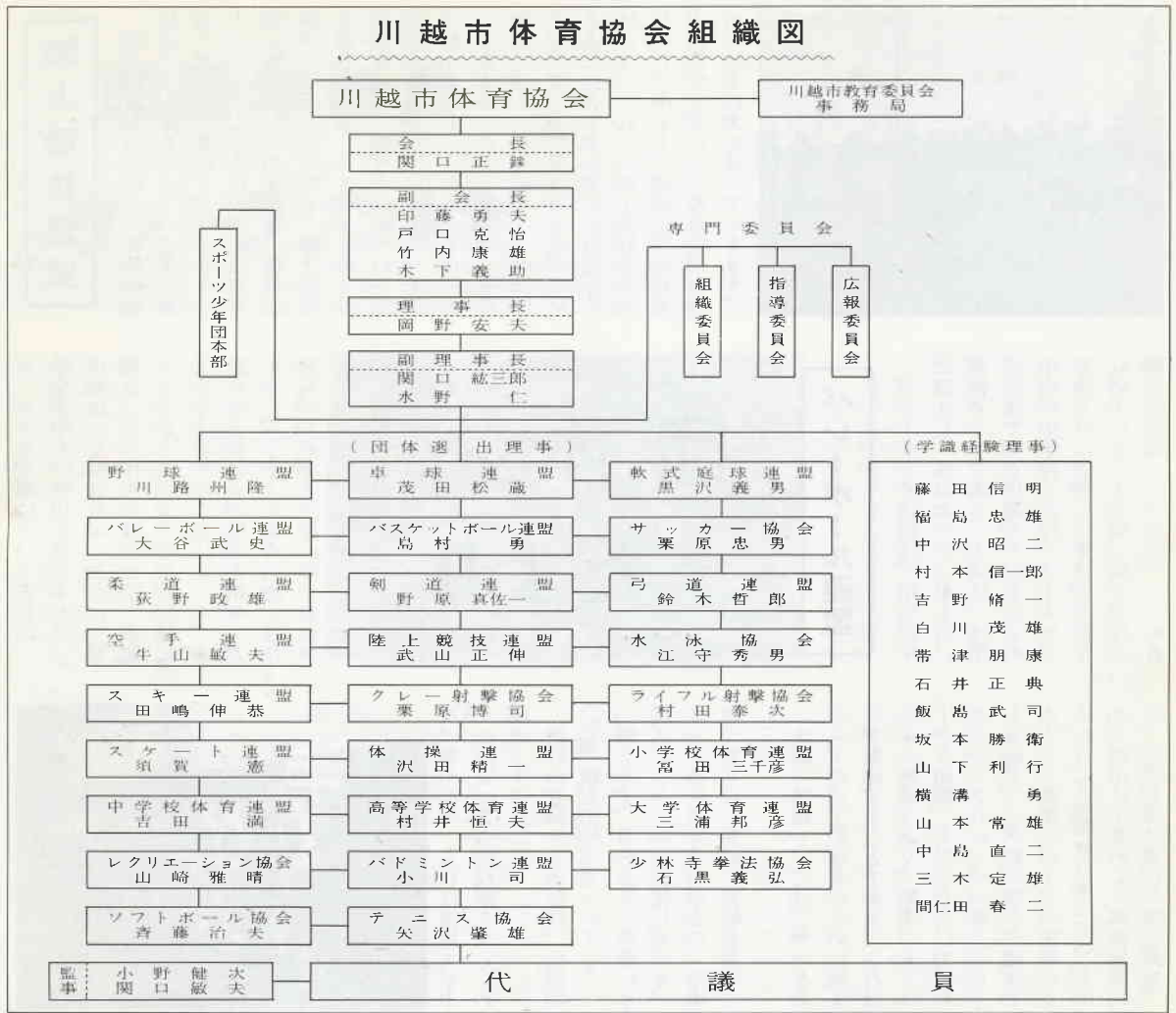
市民ロードレース大会 (57.11.28 実施)

種別	順位	1	2	3	4	5	6
小学5年	男	塩路高平	三浦大	城助	田久	丸山	和英
小学6年	男	宮嶋	加藤優	鈴子	木村	滝島	藤武
小学	女	町田	藤部伸	大木	下浦	山本	田下
小学	女	野里	川兼一	杉忍	田介	野康	伊藤
中学	男	山口	保村	岡正	田正	大野	中野
中学	女	坂季	松岡	賢一	伊伊	窪川	岡谷
高校	男	福田	杉保	知子	佐野	牛堀	福山
高校	女	田玲	安保	子二	野平	田勝	山本
青年	男	田浩	山永	兵道	野利	田勝	本博
青年	女	阿部	本鈴	良久	野清	水根	橋本
壮年(30-39)	男	浦吉	木本	大木	村勝	清根	市博
壮年(40-49)	男	松田	藤昭	西久	村了	藤恒	市博
壮年(50-59)	男	田旭	藤昭	西久	村了	藤恒	市博
一般	女	長谷	千枝	八木	中村	阿矢	黒真

川越市スポーツ少年団元旦マラソン大会 (58.1.1 実施)

種別	順位	1	2	3	4	5	6
小学3年	男	矢部	山内	友友	洋友	隆友	人英
小学3年	女	秀亮	藤史	友友	洋友	隆友	人英
小学4年	男	久保	横内	友友	洋友	隆友	人英
小学4年	女	利成	藤都	友友	洋友	隆友	人英
小学5年	男	省子	松山	友友	洋友	隆友	人英
小学5年	女	千二	本幸	友友	洋友	隆友	人英
小学6年	男	樹子	町村	友友	洋友	隆友	人英
小学6年	女	美奈	田幸	友友	洋友	隆友	人英
保護者	男	原野	馬幸	友友	洋友	隆友	人英
親子の部	男	横山	公野	友友	洋友	隆友	人英

川 越 市 体 育 協 会 組 織 図



市 民 駅 伝 競 走 大 会

(57. 12. 19実施)

種 別 \ 順 位	1	2	3	4	5	6
中 学 の 部	霞 東 中 A	芳 野 中	砂 中 D	東 中 A	砂 中 E	霞 東 中 B
高 校 の 部	川 越 高	川 越 南 高	川 越 商 業	川 越 工 業		
実 業 団 の 部	川 警 A	大 日 本 印 刷 B	大 日 本 印 刷 A	天 ノ 川	川 越 走 友 会 A	大 日 本 印 刷 C
町 内 対 抗 の 部 A	小 体 連	中 体 連				
町 内 対 抗 の 部 B	菅 間	鴨 田 A	北 田 島	鹿 飼	石 田 本 郷 A	伊 佐 沼
女 子 の 部	星 野 女 子 高	芳 野 中	霞 東 中 A	東 中 A	大 日 本 印 刷	霞 東 中 B

編 集 後 記

「二対十八」

第二次臨時行政調査会、通称第二臨調と言われていますが、その委員二十人のうち十八人が、スポーツ施設はほぼ全国的に行きわたった、スポーツ施設は不用・不急の物であると考えています。

わずかに二人だけがスポーツ施設は絶対必要であると主張しているそうです。

文部省ではあの手この手を使っ

てなんとか十八人の委員の翻意を促がそうと必至になった結果、五十八年度の子算では大きな施設は軒並み弱干のダウン、小さな施設のみがアップしています。

我われスポーツマンにとっては何を言っているんだという気になります、現実はなかなか厳しいようです。

川越市においては過日企画委員会の第四部会が総合運動公園の答申を行なったようですが、一日も早く実現してもらいたいものです。

末筆になりましたがご投稿いただきました皆様には心より御礼申し上げます。

これからも皆様のご指導をいただき、より良いものにしてまいります。

よろしくお願いいたします。よろしくお願いたします。

(広報委員会)